



## 犬連れ散策に関わる 5つの約束

那須平成の森は様々な動植物が生息しています。その生態に影響を与えないように、また、ワンちゃん自身にも影響のないように、さらにはアレルギーをお持ちの方、犬が苦手な方もいらっしゃいますので以下の5つの約束に十分ご配慮のうえご利用ください。

実証実験  
対象

### 6ヶ月以上で 排泄コントロールまたは オムツ着用が可能な犬

#### 1 病気やケガにならないように気をつけて！

- マダニが生息しています。(犬の外部寄生虫予防が必須)
- 野生動物は犬に感染する病気をもっている可能性があります。野生動物やその死骸、糞に近づかないようにしてください。
- 川や水たまりの水には様々な細菌や寄生虫などがいる可能性があります。犬に飲ませないようにしてください。
- ツタウルシ等、犬に悪影響を与える可能性がある植物が自生しています。コースから外れ、草むらなどに入れないでください。



#### 2 あったものはそのままに！自分たちの痕跡を残さず帰りましょう

- 外来種をはじめ、動植物等の持込みがないようご注意ください。散策前は必ず犬の足を拭いたうえで体全体をブラッシングし、抜け毛等はビニール袋に入れ、お持ち帰りください。
- 野生動物が興味を持ってしまいますので、原則、犬の食べ物の使用はご遠慮ください。人や犬とのすれ違い等、犬をコントロールするために必要な場合は、必要最低限として、こぼさないようご注意ください。

3

#### 離さない・離れない！ワンちゃんの行動は飼い主が責任もって



- コース内を散策する場合、原則、成人1名につき犬は1頭までとします。
- キャリーバッグやカート等に犬を入れて散策する場合、バッグやカート等と首輪をリード等で繋いでください。
- 出会い頭のトラブルなどを防止するため、見通しの悪い場所はリードを短く持ち、犬に人の横もしくは後ろを歩かせるように努めてください。
- 人や犬のそばを通る際はリードを短く持ち、一声かけてから人や犬から遠ざけるよう心がけてください。犬同士がすれ違う場合は必ず犬と犬の間に飼い主が入るようにしてください。
- ウッドデッキ等で休憩する場合、犬同士の距離は4m以上離れるよう心がけてください。
- 犬を係留したまま、その場を離れないでください。

4

#### コースは決まっています！確認してからお散歩へお出かけください

- 犬と一緒に散策することができる場所は地図を確認してください。
- 地図上の青色の点線部分(森の小径)は一方通行(反時計回り)です。
- 受付でお渡しするピブスをご着用ください。散策終了後、ピブスは受付にお返しください。



5

#### うんちおしっこはできません！万が一の場合は対処をお願いします



- 犬用トイレで排泄を済ませてから散策してください。その際、ペットシートはご持参頂いたものを使い、使用済みのものはお持ち帰り下さい。または、排泄のコントロールができない犬は必ずオムツをご着用ください。
- 万が一、犬がコース内で排尿した場合、大量の水で洗い流して薄めてください(目安: 小型犬300~500ml)。
- 万が一、犬が糞をしてしまった場合は、拾って持ち帰ってください。また、下痢や嘔吐をした際は可能な限り拾い、大量の水で流してください。
- 犬用のゴミ箱の設置はありません。ゴミは必ず持ち帰ってください。



緊急時

このような時は  
必ず連絡して下さい

愛犬のトラブルは飼い主が対応してください

- 飼い主が怪我をしたなど、いかなる場合でも那須平成の森は犬を預かることはできません。
- 犬の怪我や体調不良は飼い主自身で対応してください。

● 飼い犬が逃げた

● 犬が人・犬を噛んだ

※速やかにフィールドセンターにご連絡ください



0287-74-6808